

しか おい

議会だより

ミニ版 No.30
2011.2.25



発行 / 鹿追町議会 編集 / 鹿追町議会広報特別委員会
〒 081-0292 北海道河東郡鹿追町東町1丁目15番地
TEL/0156-66-4039 FAX/0156-66-4041

「総務文教」、「産業厚生」の常任委員会に平成23年度から新たに議会の「広聴」機能を充実させるために「広報・広聴」常任委員会を加えて、事務に関する調査や議案及び陳情等の審査、住民の意見・要望等の把握

町議会の最高規範として「議会基本条例」を制定し、開かれた議会、住民参加型の議会、町民への説明責任を果たします。「まちなか会議」は、議会報告会や各種懇談会に取り組みます。「政務調査費」は、議員の政策の調査や研究を責務として政策提言に

○議員の定数は
以前までは人口規模（鹿追町は18名）で議員の数が決められていましたが、法律の改正によりそれまで18名の議員の定数が平成3年から16名に、平成19年から13名に、平成23年から11名と議会の提案により定数が変わってきています。

○議員の報酬等は
議員報酬、期末手当が支給され、日当は平成9年より議会の提案により廃止されています。

これまでの議会と これからの議会

○議会本会議及び各委員会の活動回数
平成19年172回 平成20年158回
平成21年189回 平成22年152回

議会の変遷

今の議会は？・議会とは？

議会運営委員会

繋げるもので、交付されたものは厳格な収支報告義務が課されると共に活動状況を町民に報告します。「第三者審議会」は、議員の定数や報酬及び議会のあり方など議会全般にわたり審議し、今後の議会に活かす町民の付託に応えていきます。

「反問・反論権」は、町長と議会との議論の争点を明確にし、共通理解のもと討議を行います。これからの議員がより一層の研鑽を重ね、町民の福祉向上に視点を当てた行政推進を担います。

議会活動

〈11月〉

- 26日 総務文教常任委員会
第4回十勝圏複合事務組協議会定例会
第4回十勝環境複合事務組協議会定例会



環境保全センター研修棟視察

〈12月〉

- 3日 全員協議会、議会運営委員会
- 6日 十勝町村議会議長会定例会
- 8日 議会定例会、病院一部改築状況視察、産業厚生常任委員会、議会運営委員会
- 9日 広報特別委員会
- 14日 定例会（一般質問）、全員協議会
- 20日 産業厚生常任委員会
- 22日 定例会（最終日）、全員協議会

〈2月〉

- 1日 環境保全センター研修棟視察、全員協議会
西十勝4町長・議長行政懇談会
- 7日 総務文教常任委員会
- 14日 産業厚生常任委員会
- 16日 北十勝4町意見交換会
- 18日 広報特別委員会、議会広報モニター会議
- 25日 総務文教常任委員会、十勝町村議会議長会定例会及び懇談会

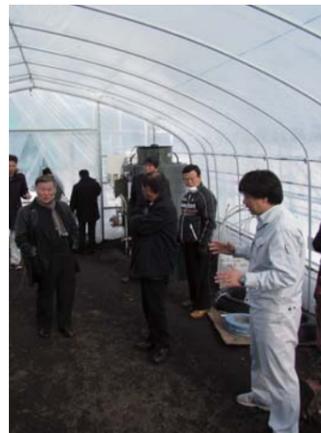


しかりべつ湖水上露天風呂

〈1月〉

- 5日 新年交礼会
- 7日 広報特別委員会
- 11日 総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会
- 13日 産業厚生常任委員会、全員協議会
- 14日 市町村行政懇談会及び新年交礼会
- 18日 広報特別委員会、議会運営委員会
- 19日 議会臨時会、全員協議会

議会広報特別委員会
委員長 川染 洋
副委員長 山岸 宏
委員 安藤 幹夫
委員 狩野 正雄
委員 飯沼 新吾



飯沼新吾

町では環境保全センターのバイオガス（熱）を利用したビニールハウスをセンターの敷地内に設置しました。ハウスは3百60㎡の3重ハウスとし、更にガスの熱を利用し、冬期間でも栽培が出来、学校給食野菜や食育推進を目指すもので、当面の研究としてサツマイモの苗や野菜等栽培試験を今年3月より実施します。家畜ふん尿を利用した循環型農業としての新規作目を模索していくものです。

観光情報の発信で意見交換 産業厚生常任委員会



氷のブロック作り作業



表彰祝賀会

産業厚生常任委員会は11月25日、しかりべつ湖コタン実行委員会(菅原末治村長)と然別湖ネイチャーセンター(石川チーフ)スタッフとの意見交換会を行いました。

この冬30回目を迎えた、しかりべつ湖コタンのイベントについて菅原実行委員長は、「冬の厳しき、雪と氷の美しさ、自然の奥深さが魅力となり、本州はもとより台湾や中国からも観光客が来ています。アイスバーや氷上露天風呂、コンサート

ホールなど他に類を見ない企画が行われています。」と説明されました。雪と氷の美しさを楽しむ「しかりべつ湖コタン」としてのイベントの積み重ねは、地域活性化の成功例として認められ、昨年、総務大臣より「ふるさとイベント大賞」の表彰を受けています。

意見交換では、「高速道路の完成で、道央圏からの観光客に対するどのような情報発信をしていくのか」、「休業している温泉施設の活用は」、「体験型観光客の受け入れやメニュー開発で鹿追自然ランドのさらなる活用方法」など活発な意見交換ができました。

これからもこのような場を持ち、観光振興のアイデアを結集していきます。



任期4年の総まとめ!

総務文教常任委員会

議員任期4年の総まとめとして、委員会として一貫して調査を続けて来た次のテーマを更に検証し、次期の委員会活動に繋げていきます。

①小中高一貫教育

町内小中高の連動による一貫教育が将来にわたって継続するためには、町教委の「学校教育指導室」の企画立案とその実践する力が大きな役割を果たします。

今後一層の努力を期待します。

②幼保の一元化

国は、地域の実情に応じた「幼保一元化」の方向性を示しました。現在、本町では幼稚園と保育園を一元化し、既存の2施設を利用し、「年齢による区分」を行うことにより、有効な運営形態を目指すことを調査研究しています。

示された国の方針と、町内の保育のニーズについて、更に「検討・研究」



を行う事が必要です。

この2つのテーマに、いかに住民の意思を反映させていくか、関係機関との連動を図りつつ、より良い姿を検討することが重要であると考えます。

パラシュート降下訓練 基地対策特別委員会

1月30日に鹿追町営牧場で、今回3度目となる千葉県(習志野)の陸上自衛隊第1空挺団(山之上団長)によるパラシュート降下訓練が、この冬いちばんの朝の冷え込みで底冷えする中実施されました。

風も無く最高の条件のもと、午前10時30分頃から次々と、2機のC1輸送機から団員たちがパラシュート

で降下しました。30分程で72名全員が無事降下訓練を終え、参加者50名以上の見学会が終了しました。

日頃より駐屯地維持拡充に係る活動に対して、ご支援ご協力賜りながら委員会活動を行っています。特に駐屯地・演習場周辺の住民の方々にはご理解ご協力感謝します。

パラシュート降下訓練 町営牧場

